**世界トップレベル研究拠点プログラム**

**平成29年度公募　一次審査**

**拠点長のビジョン･拠点構想の概要の作成について**

**拠点長のビジョン：拠点長のビジョンをA4 2枚以内で作成する。なお、拠点長候補者が外国人である場合など、日本語で作成することが困難な場合は英語で作成してもよい**

**(その他は、様式自由、資料2)。**

**拠点構想の概要：以下の 1) ～ 7) のすべての事項について、図等を適宜使用し、わかりやすく作成すること。各事項の概要は、それぞれA4 タテで、上部に事項名を記載すること(その他は、様式自由、資料3)。**

**１）拠点形成の全体像（1枚以内）**

* WPI拠点としてのミッションステートメント及び拠点のアイデンティティーを、明確かつ簡潔に示すこと。

**２）研究内容の概要（2枚以内）**

* 研究対象として取り組む重要性（当該分野における国内外の動向、科学的及び社会的意義）ならびに研究達成目標について。
* 研究体制（拠点を構成する研究者の構成、サテライト等）。なお、主要な研究者は資料4「主任研究者リスト」に記載すること。
* 研究資金等の確保に関する方策について。
* なお、拠点構想に関連が深い英文の論文（レビュー論文も可、10件以内）とそのリストを、PDF形式で別添1として添付すること。

**３）融合研究の概要（1枚以内）**

* 融合研究の必要性と意義について。
* 分野融合研究を進めるにあたっての戦略について。

**４）国際的研究環境の概要（1枚以内）**

* 国際的研究拠点の構築に向けた取組について。

**５）拠点運営の概要（1枚以内）**

* 拠点における意思決定機構、研究支援部門について。
* 世界トップレベル研究拠点として相応しい研究室、居室等の施設・設備環境について。

**６）充当計画（1枚以内）**

* 平成29年度以降、10年間にわたる各年度の充当計画について。

**７）ホスト機関からのコミットメントの概要（1枚以内）**

* 当該WPI拠点構築と並行して進める、ホスト機関の組織改革並びにそれによる支援終了後の拠点の維持の方策について。

・ なお、平成19年度に採択されたホスト機関が応募する際には、以下の観点も追加的に示すこと（該当の場合は、本項目が2枚になっても差し支えない）。

- 既に形成された世界トップレベル研究拠点を活かし、第2の研究拠点形成が具体的にどのように加速されるのか。

- ホスト機関内に2つの世界トップレベル研究拠点を形成することで、どのような相乗効果により、ホスト機関が変革されていくのか。（その目標を含め、具体的に。）